

# drumcook®

取扱説明書 / 保証書

## 製品保証書

製品購入日から1年以内に取り扱説明書に従い、正しくご使用された状態で故障が生じた場合保証規定に基づき無料修理致します。  
故障が発生した場合は本書と製品をお持ちいただき、お買い上げの販売店へ修理をご依頼下さい。

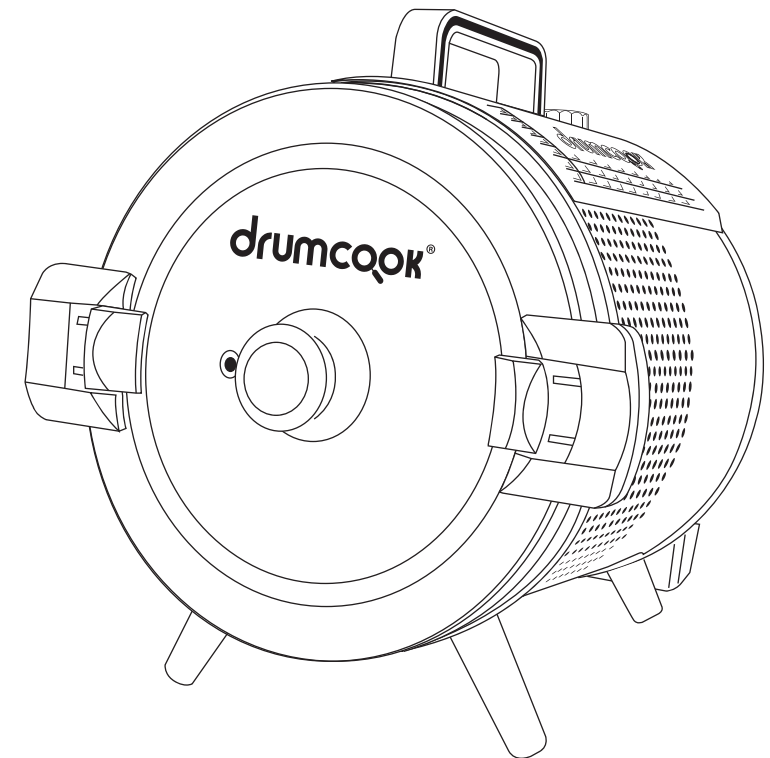
## 保証規定

- 1.保証対象部分 ドラムクック本体※消耗品を除く
  - 2.保証期間内であっても次のような場合には有償修理となります。
    - 使用方法に誤りがあった場合の故障や損傷
    - 使用電源の異常による故障や損傷
    - 他の機器に起因する故障や損傷
    - メーカー技術者以外により、分解、修理、改造がされた場合の故障や損傷
    - 車両や船舶に搭載して使用された場合の損傷や故障
    - お買い上げ後の外的要因(落下・衝撃・圧力などの負荷、液体・薬品などの付着、水没など)や、運送上の故障や損傷
    - 火災、天変地異(地震、風水害、落雷など)塩害、ガス害、虫害、公害、異常電圧などによる故障や損傷
    - 本書の提示がない場合、本書に販売店印、販売日の記載が無い場合あるいは字句を書き換えられた場合
    - オークション・リサイクルショップ等の正規販売店以外で購入された製品
  - 3.本製品を営業用(営業活動、非常識的な使用)として使用した場合には保証対象外となります。
  - 4.保証修理は持ち込み修理となります、出張修理は行いません。保証修理以外にかかる費用(梱包、送料等)は、お客様のご負担となります。
  - 5.保証修理に関して得た個人情報保証修理に関する業務以外に使用することはできません。
  - 6.贈答品や転居などで本書に記載されている販売店に修理を依頼出来ない場合には下記のお客様サポートセンターへご相談ください。
  - 7.本書は日本国内においてのみ有効です。
- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって本書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名	ドラムクック
モデル番号	DR-750N
購入日	年 月 日
販売店印 ※販売店発行の 販売店名、販売 日購入商品名 の記載された 保証書類の 添付でも可	

drumcook® 輸入販売元 株式会社ティ・ユー・エフ

一般固定電話 0120-80-1961  
携帯/PHS/IP電話など ナビダイヤル(有料)0570-200-791  
10:00~11:30 13:00~17:00(土日祝日、弊社休業日除く)  
URL ドラムクック.com



この度はお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。  
ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をお読み下さい。  
この「取扱説明書」は、製品を使用する方がいつでも見られる  
ところに保管して下さい。

# drumcook® もくじ

	ページ
▶ドラムクックの便利な機能	1
▶安全上のご注意	2～6
▶ご使用前に 使い方のポイントとご注意	6～8
▶使い方	9～11
▶お手入れ方法	12
▶保管方法、使用しない時は	13
▶困った時は	14
▶保証書とお客様サポートセンター連絡先	裏表紙

## drumcook® ドラムクックの便利な機能

本製品は、ポット内にいれた調理物をポットが回転しながら加熱する調理器具です。

### かんたん調理

ダイヤル式のタイマーを回転させればポットが回転して調理開始、サーモスタットが自動で温度を調節します。難しい設定は不要！

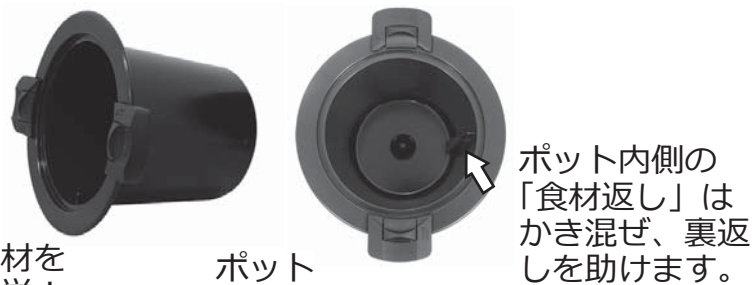
設定した時間で回転も加熱も停止します。



### ヘルシー調理

焼き物はポットの栓を外して余分な脂分を落としながら調理できます。

落ちた脂は、引き出し式の油受け皿に溜まります。ポットに栓をして調理すれば、煮物など汁がある調理も可能！



### お手入れかんたん

ポットも取り外しが簡単なので、食材を入れるときや調理後のお手入れも簡単！

# drumcook® 安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守り下さい。本体に貼付しているご注意に関するシールは、剥がさないで下さい。

マークが表す意味

	<b>警告</b> 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を表します。		このようなマークは行為を禁止（してはいけないこと）を表します。
	<b>注意</b> 誤った取り扱いをすると、人が傷害または物的損害を負うことが想定される内容を表します。		このようなマークは行為を強制（しなくてはならないこと）したり指示を表します。

## 警告



子供だけで使わせたり、子供や幼児の手が届くところへおかない  
※事故やトラブルの原因となります。

禁止



ぬれた手で差込みプラグを、コンセントに差したり抜いたりしない  
※感電やケガをするおそれがあります。

ぬれ手禁止



天ぷら、フライなど揚げ物調理をしない。  
※火災のヤケドの原因になります。

禁止



調理以外に使用しない、調理物以外のものを加熱しない。  
※火災の原因、事故、故障の原因

禁止



改造はしない、また、修理技術者以外のひとは、分解したり修理しない  
※火災・感電・ケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、弊社お客様サポートセンターへご相談下さい。

分解禁止



本体を覆うようにタオルや布などをかけて使用しない。またポットに巻き付く恐れがある、ひも、コードなどのそばで使用しない  
※火災の原因、故障の原因

禁止



交流100V以外では使用しない  
※火災・感電の原因になります。

禁止



水をかけたり、水につけたり、丸洗いはしない。水がかかりそうなところで使用しない。  
※ショート・感電のおそれがあります。

水ぬれ禁止



差込みプラグにほこりが付着している場合は、しっかり拭き取る  
※火災の原因になります

必ず実施



シンナー、ベンゼンなど引火物で洗淨しない。  
※火災の原因、故障の原因

禁止



使用時以外は差込みプラグをコンセントから抜く  
※火災・ケガの原因になります。

プラグを抜く

**必ず実施** 電源コードを抜く際には、差込プラグを持って抜く。  
※故障による感電のおそれ、ショートして発火・やけどのおそれがあります。

**禁止** コードや差込プラグが傷んでいたりコンセントの差込みがゆるいときには使用しない。  
※感電・ショート・発火の原因になります。

**必ず実施** 差込プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。  
※感電・ショート・発火の原因になります。

**必ず実施** 定格15A以上のコンセントを単独で使う。  
※他の器具と併用すると、コンセントが異常加熱し発火することがあります。

**禁止** 電源コードは破損したまま使用しない、また電源コードは無理に曲げる、束ねる、ひっぱる、重いものを載せる、はさむ、ねじる、高温部に近づける加工する、などをしない。傷つけない。  
※火災、感電の原因

**火気厳禁** 製品の周辺にストーブなどの火気や熱を発する物をおかない、また、このようなもののそばにおかない。  
※製品のプラスチック部が溶けたり発火して火災、故障の原因になります。

**必ず実施** 故障時や異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、差込プラグをコンセントから抜く  
※そのまま使用すると、発煙・発火・感電・ケガに至るおそれがあります。  
(異常・故障の例)  
●製品にひび・割れ・がたつき・ゆるみ、がある ●焦げ臭い匂いがする  
●火花が見えた ●ピリピリと電気をを感じる ●コードを動かすと通電したりしなかったりする ●電源コードや本体、ヒーターに傷、ひび割れがある など

**このような場合は、すぐに差込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、またはお客様サポートセンターへ修理を依頼する。**

**破損・故障発生時に調理していたものは食べない。  
※破片混入などにより、ケガや体調不良の原因になります。**

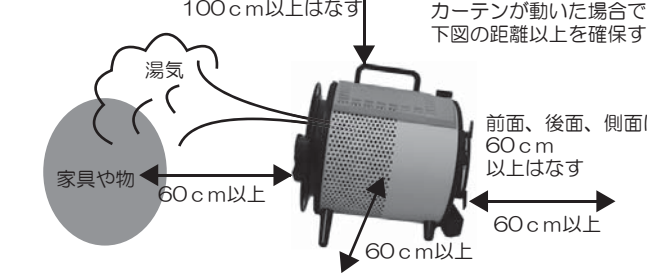
**電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくはその代理店又は同等の有資格者によって行うこと。**

**禁止** タコ足配線禁止 (タップや延長コード使用禁止)  
※他の器具と併用すると、コンセントやタップ、延長コードが異常加熱し発火することがあります。

※イラストと現品は形状が異なる事があります

**禁止** ケースに入れて使用したり収納棚等に入れて使用しないで下さい。  
※火災の原因。

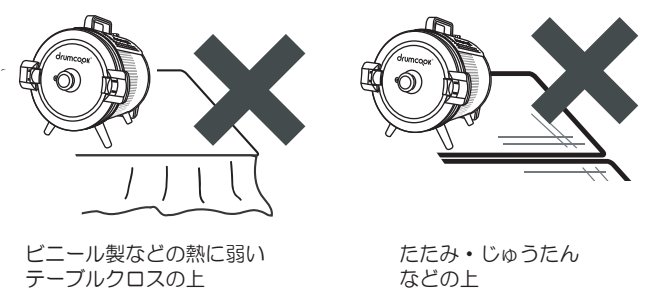
**禁止** 壁や家具(木製)の近く、カーテンなど可燃物のそばでは使わない。  
※火災の原因。



※ビニールクロス・樹脂製の熱に弱い壁や家具が周囲にある場合は上図の場合よりさらに離すこと。

**注意**

**禁止** 熱に弱い敷物やテーブルの上や不安定な場所で使用しない。  
※火災の原因、テーブルや敷物を傷める原因



**禁止** 使用中や使用後本体が熱い時はポット(回転なべ)を外してヒーターを触ったり、掃除をしない。  
また本体の高温部にも触らない。  
※ヤケドの原因

**禁止** 本体の上にものを置いたり、本体の下のすきまにものをいれて使用しない。  
※本体やものの変形、故障の原因  
火災の原因

**禁止** 使用中は本体からはなれない。  
※調理物の発火や、吹きこぼれのおそれ

**禁止** 缶詰や瓶詰め、パック入りの調理物をそのまま加熱しない。  
※破裂や赤熱によるヤケドやケガの原因

**禁止** 必要以上に加熱しない。  
※調理物の発煙・発火の原因

**必ず実施** 必ず付属のフタを使用し、確実にロックして使用する。  
※ヤケドやケガの原因

**必ず実施** 調理物が発煙・発火した場合は、すぐにタイマーを切り、差し込みプラグをコンセントから抜く。  
※火災の原因、ガラスぶたが割れるので水はかけないこと。ガラスぶたははずすとヤケドや炎を大きくする原因になるのではささないこと。

**必ず実施** 使用後は必ずお手入れを行う。  
※油分や調理くずが残ったまま調理すると発煙、発火のおそれ

**禁止** 本体の取っ手以外の部分をもって、持ち運びしない。  
ポットの取っ手で本体を移動させない。  
※故障のおそれ

**禁止** 本体が熱い時には、持ち運びはしない。  
※ヤケドのおそれ

**必ず実施** 電源コードを抜く際には、差込みプラグを持って抜く。  
※故障による感電のおそれ、ショートして発火・やけどのおそれがあります

**禁止** 湯気、湿気に弱い機器、壁や家具などの物に湯気があたる場所や、このようなものの周囲に湿気がこもる場所では使用しない。  
※湯気(湿気)による他の機器の故障の原因、湯気、湿気による、周囲のものの変形、変質の原因

**高温注意**

※上は湿気や水滴が発生しやすいのでとくに注意

※熱い湯気(湿気)が出ます。

**禁止** 熱い湯気が出ます。ガラスぶた前面に顔や手など身体を近づけない。  
※ヤケドの原因





タイマーのダイヤルを固定したり回し過ぎたりしない。  
※火災、故障の原因

禁止



変形したポットや、破損したガラス蓋や取っ手など、本体に異常がある時は使用しない。  
※感電、火災、故障の原因

禁止



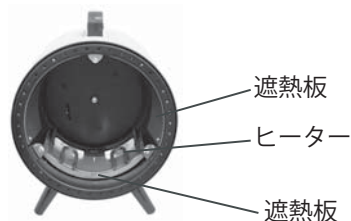
油受け皿は必ず奥まで入れて使う。  
※ヤケドの原因、テーブルや床の汚損の原因

必ず実施



本体の内側はケガをしないよう、手袋をして清掃する。  
※遮熱板の角、フチによるケガのおそれ

必ず実施



調理前には必ず油受け皿を空にしてから調理を開始する。  
※テーブルや床の汚損の原因

必ず実施



使用中や使用後はしばらくは高温部(各部の取っ手とダイヤル以外の部分)にはさわらない。  
※ヤケドの原因

禁止



ポットを取り外さないで、ガラス蓋を開ける場合は必ずポットの開口部の下に皿など十分な容量の容器を置く。  
※ヤケドの原因、テーブルや床の汚損の原因

必ず実施



本体を移動する時は、必ず差込みプラグをコンセントから抜く。  
※故障やケガの原因

必ず実施



ガラス蓋の蒸気穴から水分や調理物が吹き出した場合はタイマーを OFF にしてから差込みプラグを抜き、吹き出しが止まってからポットをはずす。  
※ヤケドの原因、テーブルや床の汚損の原因  
※調理を継続する場合は、必ず調理物の量を減らして下さい。

必ず実施



動作中にガラス蓋を開けたり、油受け皿を引き出さない。  
※ヤケドの原因

禁止

未永くご使用いただくために必ずお守り下さい。

## ⚠ 注意



空焼きはしない。  
※故障の原因、ポットのフッ素樹脂加工の劣化、消耗、ポットの変形を早めます。

禁止



本体やポット、ガラス蓋を落下させたりぶついたりしない。  
※本体の故障、ポットの変形、ガラス蓋の破損の原因

禁止



ヘラやフォークなど鋭利な金属や硬いものでポットを擦って調理したり掃除をしない。ポットの洗浄に研磨剤や研磨剤入りスポンジ、金属製のたわしなど硬いものを使用しない。  
※ポットのフッ素樹脂加工の傷、剥がれの原因

禁止



60分使用したら、次の調理をするまえに本体を冷ます。  
※故障のおそれ

必ず実施



ポットの中で調理物を保存しない。  
※ポットの耐久性を落とす場合があります。

禁止



本体の洗浄に酸性、アルカリ性の洗剤を使用しない。  
※金属部分が侵され、故障の原因

禁止

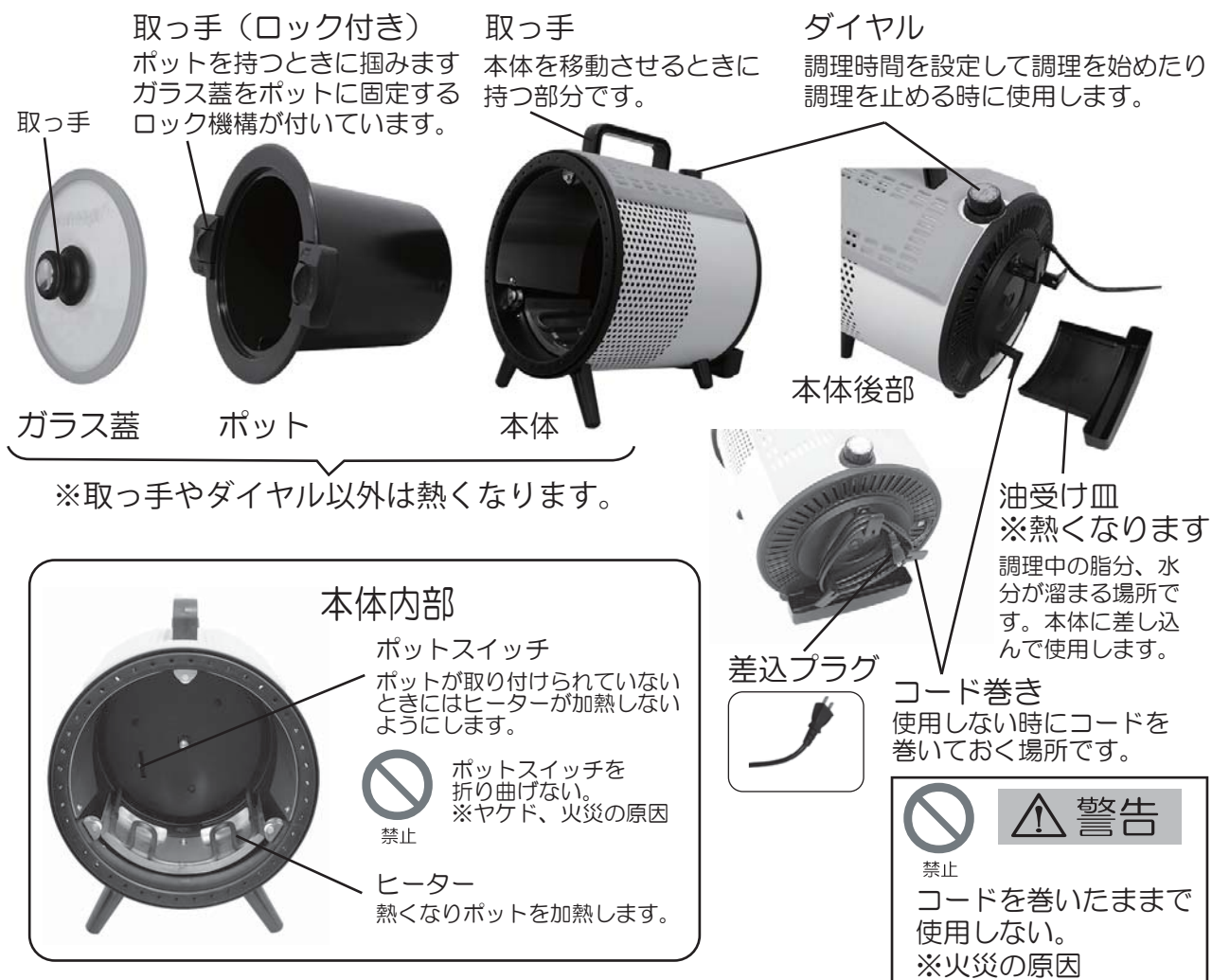
## ガラス蓋の取扱注意事項

### ⚠ 注意

- ・ガラス蓋の取っ手がゆるんできた時はすぐに取っ手の裏側のネジを締めてください。絶対にゆるんだまま使用しないでください。(ネジを締める際、電動ドライバーは使用しないでください。)
- ・ガラス蓋を他の器具で使用したり直火にかけないで下さい。破損や火傷のおそれがあります。
- ・ポットとの温度差による破損を防ぐためにガラス蓋は、加熱開始時から使用して下さい。
- ・熱いうちに冷水をかけたりしないで下さい。
- ・落としたり、かたい物にぶつける等、強い衝撃を与えないでください。破損のおそれがあります。
- ・ガラスに、欠けやヒビ、傷がついた時には使用を中止してください。傷がついたままの使用は破損の原因になります。
- ・ガラス蓋はクレンザーや、たわし、研磨剤または研磨剤つきのスポンジなどキズが付く原因となるものは使用しないでください。
- ・ガラスが破損すると破片が細片となり激しく飛散する恐れがあります。ケガ等には十分ご注意ください。

## drumcook® ご使用前に 使い方のポイントとご注意

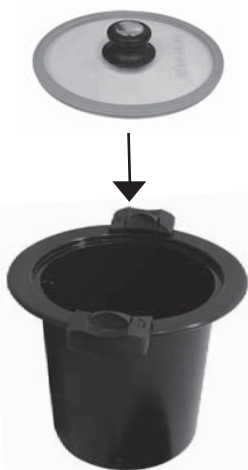
### 各部のなまえとはたらき



## ガラス蓋の取り付けかた

1 ガラス蓋を  
ポットの中心に載せる

2 ガラス蓋をロックする



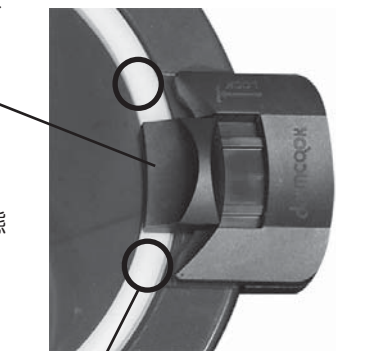
× 不完全

○ 正しい

取っ手のツメを  
内側に押す

正しく  
ロックされた状態

LOCKの線まで  
スライドさせる



ロックしづらい場合は  
○の部分指で押して下さい。

## ガラス蓋の開け方（調理物の取り出し方）

！ 調理後ガラス蓋は熱くなっていますので、お取り扱いの際にはミトンなどで手を保護してください。  
必ず実施

ポットに栓をしない調理の場合

ポットに栓をする調理の場合



取っ手は  
水平にする

皿を置く  
(汁などが溢れる可能性があります)

上記の状態に準備ができてから  
蓋をあける。

または、「ポットに栓をする調理」  
と同じ方法で蓋をあける。



ポットを本体からとりだして、  
蓋を上向きにして立ててから  
蓋をあける。

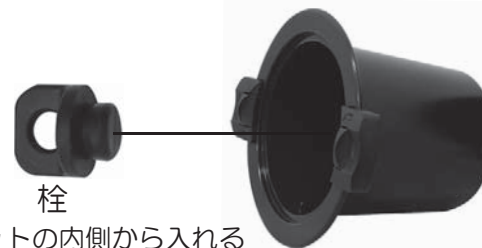
！ ポットは平らで安定した場所に置く  
※ポットが転倒するとヤケド、ケガ  
のおそれ  
必ず実施

【注意】ポットの栓を外して調理した場合は、本体からポット  
を外す際に食材の油や水分が垂れる場合がありますので、ご  
注意ください。  
※垂れた油や水分がヒーターに付着し煙が出る原因となる場  
合があります。

## ポットの栓 取り付けと交換方法

取り付け

煮汁など水分を逃したくない  
調理の場合に栓をして調理を  
することができます。



栓

栓はポットの内側から入れる



栓をしたポット

交換

ポットの栓がゆるくなったり、傷んだ場合は  
ポット栓用リングも、リングの向きに注意し  
で同時に交換して下さい。



ポットに取り付け  
てある状態

ポット栓用リング

内側

外側  
(穴のフチが  
飛び出ている)

ミソに  
ポットの  
穴のフチ  
を入れる

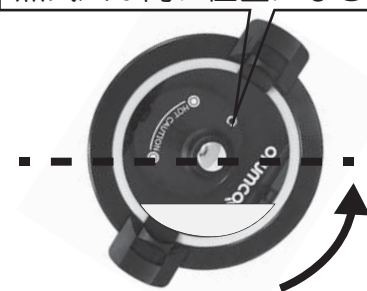
！ ガラス蓋の蒸気穴から吹きこぼれが発生した  
場合はすぐにダイヤルをOFFにして、吹き  
こぼれが落ち着いてからポットを取り出して  
中の水分量を減らして下さい。  
必ず実施

栓使用時は油受け皿に内容物がもれていないか数回、回転させ  
てから確認する。※回転しないと漏れはわかりません。

！ ポットの栓は外側から差し込まない。  
※栓のつまみがヒーターに当たり  
発煙、発火、火災の原因になります。  
禁止

## ポットを本体から取り出す時のポイント

蒸気穴が高い位置になるまで回す



▶ 煮込みなど、水分が多い調理の場合  
(ポットに栓をする調理)

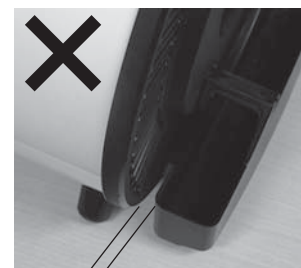
中の汁などが蒸気穴から漏れるのを防ぐために、タイ  
マーを目盛り10ぐらいまでまわして、蒸気穴が蓋の  
中心より高い位置でタイマーを戻して止める。

## 油受け皿の取り付け方法



油受け皿を本体に  
差し込む

！ 油受け皿は必ず、奥まで入れて  
使う。使用を開始するときは必  
ず空の油受け皿を使用する。  
※油受け皿を奥までしっかり入  
れないと、故障の原因になり  
ます。  
必ず実施



× 隙間がある  
油受け皿が奥まで入っていない



○ 本体に接触するまで  
油受け皿が奥まで入っている

！ 油受け皿の深さの半分（本体に取り付けたとき見え  
ている部分）以上、内容物をためない。  
※本体や周囲の汚損の原因  
禁止

→14 ページ 調理中に油受け皿の中身を捨てたい



# drumcook® 使い方

## 1 ポットを本体から取り出して、食材を入れる。

ポットの取り外し  
ポットは本体からまっすぐ引き抜くだけで外れます。



### 食材別おすすめの重量

肉	ブロック 1.5kg / スライス 800g 丸鶏 1.5kg ※丸鶏は1個まで
魚	丸ごと / 切り身 800g ※ポットの深さの7分目ほどまでの長さ、長い場合は裏返りづらくなります。
イモ類	丸ごと 1.5kg / スライス 800g ※さつまいもは直径6~7cmで3個ほどが目安、小さいものはより多く入ります。
炒め料理など 複数の材料を 合わせた調理	一口大 / 約1kg

入れることが出来る調理物の最大重量 2Kg

ドラムックは中に入れた調理物全体を加熱するためにポットが回転しますが調理物の混ざり具合や、裏返り具合は、形状や量により異なりますので、状況により、大きさや量は適宜調整して下さい。



満水容量 1L

【注意】  
満水容量は水のみを入れた場合です。  
実際に調理する際は、ほかに入る調理物の量により適宜水分を減らして下さい。  
野菜など加熱により水分が多く出る調理物は水分を少なめにして下さい。

## 2 ガラス蓋を取り付けて、確実にロックしてから本体にポットを取り付ける。ポットは本体に対してまっすぐ入れ、確実に取り付けられているか確認してください。

→7ページ ガラス蓋の取り付けかた

### ①ポットの取り付け

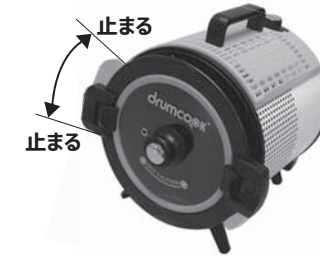
ポットを本体の奥へ差し込み  
ポットが止まるまで奥へ押し込んで下さい。

ポットが止まるまで奥に入れる



### ②ポット取り付け確認

ポットの取っ手部分をかるく指で左右にまわして、図のようにポットの回転が止まるか確認する。止まらないときはポットは正しく取り付けられていませんので、ポットを入れなおして下さい。



無理に力をいれてポットを回さない  
※故障の原因



必ず実施

ポットの取り付け、取り外しの際には必ず差し込みプラグがコンセントから抜けていることを確認してください。

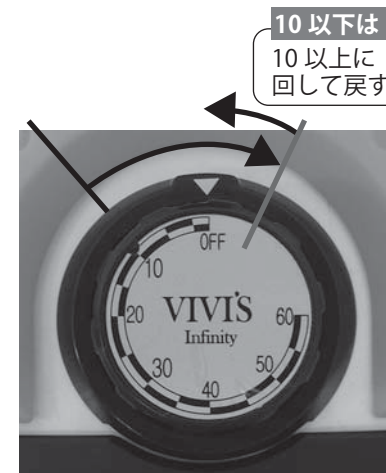
## 3

タイマーがOFFになっている事を確認してから差込プラグをコンセントに確実に差し込む※OFFは必ず確認下さい。

## 4

タイマーのダイヤルを回すとポットが回転して、加熱が始まります。タイマーで設定した時間がたつと「チン」と音がしてポットの回転とヒーターの加熱が止まります。

### タイマー操作のポイント



10以下は  
10以上に  
回して戻す

### 10の目盛りが約10分（～約60分）

▶タイマーを目盛り10以下に設定する場合は  
タイマーを目盛り10以下に設定する場合は10の目盛りより多く回してから、希望の時間まで戻す。

※10以上に回さない場合、ポット回転と加熱が始まらなかったり、終了時の「チン」音がしない場合があります。

▶タイマーを目盛り10以上に設定する場合は  
タイマーを目盛り10以上に設定する場合は希望の目盛りまで回すと、ポットの回転と加熱が始まります。

タイマーは切れた後もしばらく動作音がしますが故障ではありません。

## 参考調理時間

鶏丸焼き	鶏 1 匹 1000g	60 分
豚バラ焼き	豚バラ肉 400g	15 分
回鍋肉	豚肉300g キャベツ1/4 ピーマン2個	15 分
塩サバ焼き	半身	10 分
あさりバター	あさり 300g	15 分
パエリア	生米 2 合 シーフードミックス 1/2 袋 パプリカ (赤) 1 個	25 分
焼きそば	市販の焼きそば 2 人前 豚肉 100g キャベツ 1/2 にんじん 1/2	25 分

※調理時間は参考値です。調理物の形状、質によって変化しますので仕上がりにより適宜調節して下さい。



禁止

回転中のポットを取っ手をつかむなどして止めない、ポットを取り出さない、ガラス蓋のロックを外さない  
※故障、ケガ、ヤケドの原因



禁止

調理後ポットは熱くなっております、取り出したポットを置く場合には熱に弱い場所に置かない。

- 5** 調理がおわったら、ポットから調理物を取り出して下さい。  
→7ページ ガラス蓋の開け方 (調理物の取り出し方)  
→8ページ ポットを本体から取り出すときのポイント

- 6** 使用後は、必ず差し込みプラグを抜く。



### 高温注意

調理中、調理直後は放熱穴から熱気が出ています、やけどに注意してください。



## drumcook® お手入れ方法

- 1 製品が冷めていること、差し込みプラグが抜けていることを必ず確認する。
- 2 下記の各部分ごとのお手入れ方法のとおり清掃する。



### 水洗い可

本体から取り出して丸洗い出来ます

- ▶ ガラス蓋
- ▶ ポット (ポットの栓)
- ▶ 油受け皿

食器用洗淨用のスポンジと食器用洗剤で水洗いします。洗淨後は水気を切り乾燥させて下さい。  
本体への取り付けは乾燥後に行ってください。



禁止

ガラス蓋とポットの洗淨には研磨剤や研磨剤入りスポンジ、金属製のたわし、ヘラなど鋭利な金属を使用しない。

※ガラス蓋の傷による破損事故、ポットのフッ素樹脂加工の傷、剥がれの原因

→6ページガラス蓋の取扱注意事項



本体の外側は固く絞った布巾で拭き掃除をして下さい。

本体の内側は油受け皿を付けたまま、調理物のカスなどを柔らかいブラシやハケなどで油受け皿に通じる穴に落として掃除して下さい。



水ぬれ禁止 水洗い不可

本体は水をかけたり、洗剤を吹きかけたり出来ません

- ▶ 本体外側
- ▶ 本体内側



禁止

ポットスイッチは、ポットが取り付けられていない時にヒーターの加熱とポットの回転を止める重要な部品です。先端部分は曲がりやすいのでさわらないこと。

※ポットスイッチ周囲を布巾などで拭くことは極力避けて下さい。

※ヤケドや故障、火災の原因になります。



必ず実施

本体の内側はケガをしないよう、手袋をして清掃する。

※遮熱板の角、フチによるケガのおそれ



禁止

本体の洗淨に酸性、アルカリ性の洗剤を使用しない。

※金属部分が侵され、故障の原因

- 3** 組立は乾燥してから行って下さい。

使用していないときは埃をさけ、乾燥した場所に置いて下さい。  
 長期間使用しない場合は、箱や袋に入れたり、カバーをかけるなどして下さい。  
 ※湿気、埃の防止



**禁止** 本体に埃を積もらせない。  
 ※火災・故障の原因  
 ※本体に埃が多量に積もっている場合は、放熱穴の内部に埃が入っている場合があります、そのまま使用すると本体内部の埃が燃焼して危険です。使用前に販売店またはお客様サポートセンターに清掃をご依頼下さい（清掃は有料です）

drumcook® 製品仕様

製品名	ドラムクック (drumcook)
型式	DR-750N
定格	入力 AC100V 50/60Hz 出力 690W
主な材質	【本体】 スチール アルミニウム合金 【ポット】 セラミックコーティング アルミニウム合金 【ガラス蓋】 強化ガラス
セット内容	本体、ポット、ガラス蓋、説明書、レシピ、油受け皿 ポット栓 2 個、ポット栓リング 2 個、(1 個はポットに装着済み)
生産国	韓国
—ガラス蓋仕様— 品名	強化ガラス製器具
強化の種類	全面物理強化
取っ手材質	フェノール樹脂
パッキン材質	シリコン

こんなときは	こうしてください。
タイマーを回したがポットが回転しないし熱くならない	差込プラグが確実に差し込まれているか確認 ※差込忘れの可能性があります。 ポットが確実に取り付けられているか確認 ※ポットが確実に取り付けられていないと作動しないようになっております。
ポットは回転しないがポットが加熱されるまたはその逆	使用せず、すぐにお買い上げの販売店、またはお客様サポートセンターへご連絡下さい。
ガラスぶたのフチから煮汁などが漏れるまたはポットの栓から漏れる	ガラス蓋のパッキンとポットの間調理物などがはさまっていないか確認後、ロックを確実にする。ポットの栓から漏れる場合は取り付けを確認する。改善しない場合はすぐにお買い上げの販売店、またはお客様サポートセンターへご連絡下さい。 ※パッキンの消耗や損傷がある可能性があります、その場合は交換が必要です。 ポットの栓はセット内容に含まれている予備がある場合は交換して下さい。
長い調理物が裏返らない	調理物の長さは、最長でもポットの奥行き7分目程度までにして下さい。
調理物が混ざりづらくて加熱ムラがある	調理物の量が多すぎるので、量を減らして調理する。
調理物や煮汁、水分が蒸気穴から吹き出す	調理物の量が多すぎるので、量を減らして調理する。 加熱すると、調理物から水分が出て吹きこぼれが発生する場合があります。野菜の量が多い時はとくにポットに入れる水分は少なめにしておく、生米は参考調理時間表の2合を守る。
調理中に油受け皿の中身を捨てたい	写真のように「食材返し」が右側でポット中心の高さに来たときにいったんタイマーをOFFにして油受け皿を抜き差しして下さい。 ※写真の状態のとき穴は上を向きます。
上記以外のお困りごと、製品不具合などはお買い求めの販売店または裏表紙の保証書に記載されているお客様サポートセンターへご相談下さい。	

